

## 指数先物取引入門ガイド

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

・取引時に必要な証拠金は、日経225先物は1単位あたりプライス・スキャンレンジの1.2倍(万円未満切り上げ、最低50万円)、日経225miniはプライス・スキャンレンジの0.12倍(千円未満切り上げ、最低5万円)です。

・プライス・スキャンレンジの額は大阪証券取引所にて週1回見直しが行われることから、当社規定の証拠金も毎週変更される可能性があります。

・取引の額は、日経225先物は約定単価×取引枚数×1000倍、日経225miniは約定単価×取引枚数×100倍であるため、取引の額が預託すべき証拠金の額を上回ります。その比率は、証拠金額・約定単価によって異なります。

・建玉の評価損、証拠金額の引き上げ等により不足金が生じた場合、不足額を所定の日時まで差し入れていただく必要があります。

・市場の状況によって、制限値幅が拡大されることがあるため、1日の損失が予想を上回る恐れがあります。

・当社では、イブニング・セッション、ギブアップ制度(注文執行と清算を別々の業者で行う制度)は、お取り扱いしていません。

・日経225先物、日経225miniは、日経平均株価を対象としているため、価格は、日経平均株価の変動に影響を受け、損失が生じる恐れがあります。また、その損失が、預託した証拠金の額を上回る恐れがあります。

# 目次

---

- P1・・・株価指数先物取引とは？
- P2・・・弊社オンライントレード先物取引の条件(概要)
- P3・・・期日・限月とは？
- P4・・・決済方法は？
- P5・・・諸経費は？
- P6・・・取引に必要な証拠金額計算の考え方
- P7・・・預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出
- P8・・・建玉に係る証拠金所要額及び新規建て可能数量の計算方法
- P9・・・評価損が発生した時の管理方法
- P10・・・日経225先物取引の活用方法
- P11・・・～知っておきたい用語～
- P12・・・先物取引の口座を開設するには？

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 株価指数先物取引とは？

**先物取引**とは、現時点で、将来の売買を約束する取引です。例えば、6ヶ月後に**「ある商品」**を1万円で買う/売るといった約束を、**現時点で行うこと**です。

先物取引には**「期日」**があります。**その期日までの取引期間中は、いつでも反対売買により決済することができます(期日が到来すると、自動的に決済されます)**。未決済の取引のことを、**「建玉」**と呼びます。

**決済時には、**買いの取引代金と売りの**取引代金との差額(=損益)の受渡が行われます(=差金決済)**。

通常の現物取引では、10万円分の商品を買う場合には10万円(+諸経費等)が必要になりますが、先物取引では、現時点では対象となる商品そのものは必要無いため、現物株式取引のように**「買ってから売る」**だけではなく、信用取引のような**「売ってから買い戻す」**という取引手法も可能です。

また、先物取引は、**「証拠金」**という担保を差し入れることにより、**取引ができます**。(証拠金はあくまでも担保であり、買いor売り代金ではありません。)

**株価指数先物取引とは、株価指数(日経平均株価やTOPIXなど)を対象とした先物取引です。**

弊社オンライントレードでは、日経平均株価(日経225)を対象とし、日経平均株価の1,000倍を取引単位とする**「日経225先物」**と、同じく日経平均株価の100倍を取引単位とする**「日経225mini」**をお取引いただけます。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 弊社オンライントレード先物取引の条件(概要)

## ◆取引できる先物取引の種類・取引条件等

	日経225先物	日経225mini
取引代金	日経平均株価の1,000倍	日経平均株価の100倍
1単位(枚)当たり 弊社規定証拠金	プライス・スキャンレンジの1.2倍 (万円未満切り上げ。最低50万円。)	プライス・スキャンレンジの0.12倍(日経225先物の10分の1) (千円未満切り上げ。最低5万円。)
上限枚数	1注文当たり・・・100枚 総建玉枚数・・・200枚	1注文当たり・・・100枚 総建玉枚数・・・200枚
	別途、総建玉上限金額に対して20億円(日経225先物、日経225mini合算)の制限があります。	

例)1枚あたり証拠金が65万円の時に、日経225先物を9,500円で2枚買う(買い建てる)場合・・・

取引代金 = 9,500円 × 1,000倍 × 2枚 = 1,900万円

担保として差し入れる証拠金額 = 2枚 × 65万円 = 130万円

・・・約定単価・取引代金にかかわらず、『取引枚数 × 規定証拠金』の額を証拠金として差し入れていただければ、お取引が可能です。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 期日・限月とは？

## 期日・限月について

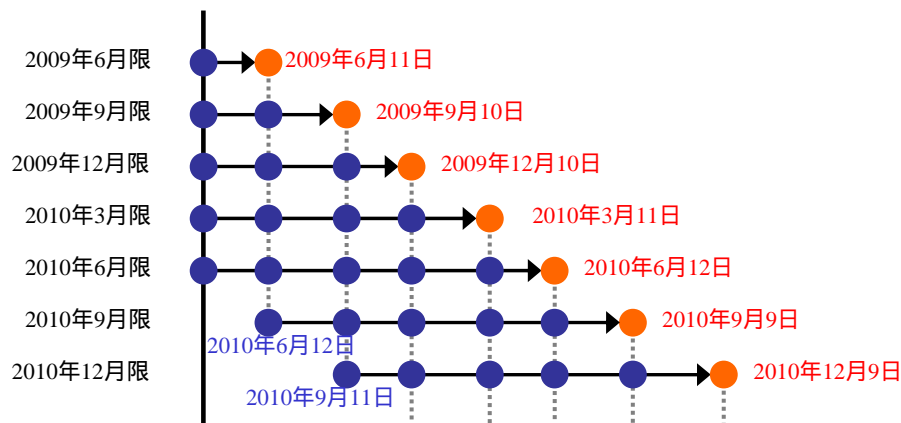
先物取引には「期日」があります。この期日が属する月を「限月」と呼びます(株式でいう『銘柄』にあたります)。

『限月』は3月・6月・9月・12月のいずれかの月で、日経225先物取引では最も近い5つの限月が、日経225mini取引では最も近い2つの限月が、並行して取引されます。

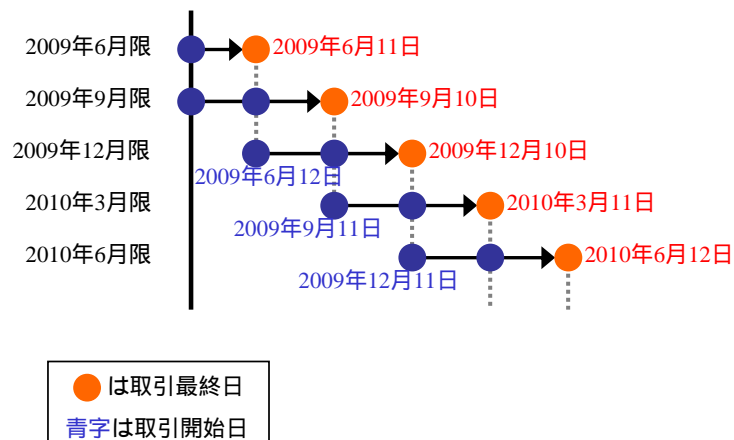
各「限月」の第2金曜日(祝祭日の場合は直前の営業日)が満期日となり、その前営業日が取引最終日(=『期日』)です。期日までに反対売買を行わなかった場合には、満期日にSQ値で自動決済されます。

例えば2009年5月1日現在だと、日経225先物には2009年6月・9月・12月、及び2010年3月・6月の5つの限月が、日経225miniの場合は2009年6月と9月の2つの限月があり、それぞれ取引されています。

### 日経225先物(5限月制)



### 日経225mini(2限月制)



投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 決済方法は？

建玉の決済方法は、**期日までに反対売買を行う方法**と、満期日に計算される**特別清算指数**(SQ:スペシャル・クォーターション)で**決済する方法**があります。

いずれの場合にも**建てた時の価格と決済価格との差額分**のみを受渡する**差金決済**が行われます。決済の結果、利益が出ていれば益金を受け取り、損失が出ていれば損金を支払うことになります。

手数料・消費税は、新規建て分・決済分、まとめて決済時に損金として計上されます。

## 1) 反対売買により決済 注)手数料は考慮しておりません。

例) 日経225先物を9,000円で3枚買建て、9,300円で転売する場合

$$( 9,300円 - 9,000円 ) \times 1,000 \times 3枚 = 900,000円$$

90万円の益金を受け取れます。

## 2) SQ値により決済

SQ値は、満期日における日経平均株価の各構成銘柄の始値により算出されます。通常の日経平均株価は気配値段も加えて算出されるため、**SQ値と日経平均株価の始値は異なります**。SQ値は、その日の取引終了後に発表されます。

例) SQ値が9,000円の場合

注)手数料は考慮しておりません。

買方の場合	売方の場合
日経225miniを9,100円で1枚買建て、SQ値で自動決済。 ( 9,000円 - 9,100円 ) × 100 × 1枚 = <b>- 10,000円</b> <b>1万円の損金を支払う。</b>	日経225先物を9,200円で1枚売建て、SQ値で自動決済。 ( 9,200円 - 9,000円 ) × 1,000 × 1枚 = <b>+ 200,000円</b> <b>20万円の益金を受け取る。</b>

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 諸経費は？

## ◆手数料

日経225先物	日経225mini
1枚当たり525円	1枚当たり52.5円

消費税込み。  
円未満切り捨て。

## ◆弊社オンライントレードにおける規定証拠金

日経225先物	日経225mini
1枚あたり、プライス・スキャンレンジの1.2倍。 万円未満切り上げ。 最低50万円。	1枚あたり、プライス・スキャンレンジの0.12倍。 千円未満切り上げ。 最低5万円。 <b>(日経225先物の10分の1)</b>

取引に際しては、あらかじめ必要となる額を証拠金に振り替えていただく必要があります。

証拠金は現金のみです。株券等による代用はできません。

規定証拠金はオンライントレードログイン後のお知らせ欄に掲載しています。

プライス・スキャンレンジは、大阪証券取引所において原則週1回更新されるため、弊社規定証拠金も原則週1回更新を行います。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 取引に必要な証拠金額計算の考え方

仮に同限月・同枚数の買建玉・売建玉がある場合に、そのまま満期日が到来すると、両方ともにSQ値で自動決済されるため、損益は確定されていることとなります。

(例えば同じ限月の買い建玉、売り建玉が1枚ずつある場合、満期日には、両方同じSQ値で決済されます。)

また、異なる限月であっても、近い方の満期日までは、損益がほぼ確定されていると考えることができます。

この考えを基に、弊社オンライントレードでは、限月にかかわらず**「買建玉と売建玉の多い方の枚数」分の証拠金を、証拠金として必要な額(=証拠金所要額)**としています。

なお、**日経225mini 1枚は、日経225先物0.1枚として計算します。**

## 例) 日経225先物1枚あたり規定証拠金を65万円とした場合

売建玉	買建玉	証拠金所要額
日経225先物 3枚 日経225mini 4枚 <b>日経225先物換算で3.4枚</b>	日経225先物 2枚 日経225mini 11枚 <b>日経225先物換算で3.1枚</b>	売建玉3.4枚、買建玉3.1枚なので、 3.4枚 × 65万円 = <b>221万円</b>

証拠金所要額と、証拠金として差し入れていただいている額(=受入証拠金残)とを比較して、**受入証拠金残が不足している場合には、「証拠金不足」のため、証拠金の追加差し入れが必要となります。**

**「受入証拠金残」は、**当日の取引終了後の値洗いにより発生した**評価損益も加減して算出**しますので、建てた時は証拠金が足りていても、その後の相場変動により評価損が発生すれば、追加証拠金の差し入れが必要となります。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

## 預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出

例) 300万円を証拠金として差し入れると、何枚の取引ができるか？

日経225先物の規定証拠金(1枚あたり)・・・62万円

の場合。

### ・新規建て可能数量

$$\text{日経225先物: } 300\text{万円} \div 62\text{万円} = 4.83\cdots = \mathbf{4\text{枚}}$$

$$\text{日経225mini: } 300\text{万円} \div (62\text{万円} \div 10) = 48.38\cdots = \mathbf{48\text{枚}}$$

手数料・消費税は、新規建て分・決済分、まとめて「**決済時**」に損金として計上されます。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 建玉に係る証拠金所要額及び新規建て可能数量の計算方法

例) 受入証拠金残300万円。 日経225先物の規定証拠金62万円。 下表の建玉がある。

銘柄	売買	数量	建単価	時価	評価損益
日経225先物 6月限	買建	1枚	9,000円	9,000円	0円
日経225mini 6月限	売建	35枚	9,000円	9,000円	0円

注) 手数料等は考慮していません。

日経225先物に  
換算すると3.5枚。

## ・証拠金所要額(=証拠金として必要な額)

$$\begin{array}{rclclcl} \text{買方と売方で大きい方の枚数} & \times & \text{規定証拠金} & = & \text{証拠金所要額} \\ 3.5\text{枚} & \times & 62\text{万円} & = & 217\text{万円} \end{array}$$

## 追加証拠金発生までの余力

$$\begin{array}{rclclcl} \text{受入証拠金残} & + & \text{評価損益} & - & \text{証拠金所要額} & = & \text{追加証拠金が発生するまでの余力} \\ 300\text{万円} & + & 0\text{円} & - & 217\text{万円} & = & 83\text{万円} \end{array}$$

## ・新規建て可能数量

	受入証拠金残	÷	規定証拠金	-	既建玉枚数	=	可能枚数	(日経225先物)	(日経225mini)
売建可能数量	300万円	÷	62万円	-	3.5	=	1.338...	(1枚)	(13枚)
買建可能数量	300万円	÷	62万円	-	1	=	3.838...	(3枚)	(38枚)

次のページでは、評価損が発生した場合をみてみます。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 評価損が発生した時の管理方法

前ページのまま大引けを迎え、値洗いにより評価損が発生した場合。

注)手数料等は考慮していません。

銘柄	売買	数量	建単価	時価	評価損益
日経225先物 6月限	買建	1枚	9,200円	9,600円	$(9,600円 - 9,200円) \times 1,000 \times 1枚 = +40万円$
日経225mini 6月限	売建	35枚	9,200円	9,600円	$(9,200円 - 9,600円) \times 100 \times 35枚 = -140万円$

## ・証拠金所要額( = 証拠金として必要な額)

$$\begin{array}{rclclcl} \text{買方と売方で大きい方の枚数} & \times & \text{規定証拠金} & = & \text{証拠金所要額} \\ 3.5\text{枚} & \times & 62\text{万円} & = & 217\text{万円} \end{array}$$

## 追加証拠金発生までの余力

$$\begin{array}{rclclcl} \text{受入証拠金残} & + & \text{評価損益} & - & \text{証拠金所要額} & = & \text{追加証拠金が発生するまでの余力} \\ 300\text{万円} & + & (40\text{万円} - 140\text{万円}) & - & 217\text{万円} & = & -17\text{万円} \end{array}$$

17万円の証拠金不足が発生。  
翌営業日正午までにお振り込みいただく必要があります。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

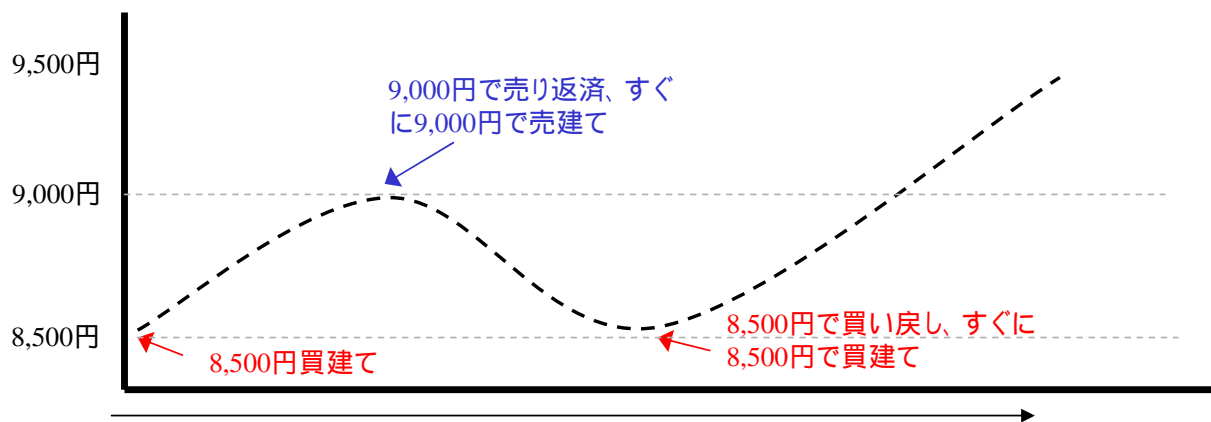
# 日経225先物取引の活用方法

現物取引では、いわゆる『日計りルール』により、同一日に買い 売りを行うと、その売却代金は同日中の同一銘柄の買付には充当できません。

また、信用取引でも、同一日に新規建て 返済を行った場合には、新規建てに充当した保証金は、同日中は他の新規建てに充当することはできません。

日経225先物・日経225miniでは、『差金決済』が認められているため、**同一の資金で何回転でも同一銘柄(限月)の取引ができます**。例えば1枚分の証拠金があれば、下図のような**「買建て 売り返済・すぐに売建て 買い戻し・・・」**というような取引が可能です。

実際には、**決済損益は、決済約定時点で証拠金から加減されます**。また、**手数料・消費税は、決済約定時に、新規建て分・決済分、まとめて損金として計上**されます。



投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

## ～ 知っておきたい用語 ～

### ◆ プライス・スキャンレンジ

日経225先物取引だけで単一限月の買いか売りのどちらか一方を取引した際に必要な証拠金の最低基準額です。日経225miniは日経225先物の10分の1の金額が最低基準額となります。

日経平均株価(日経225)の終値の前日比の絶対値(価格変動幅)を過去 4週間 24週間 それぞれ 1営業日ごとに調べます。 の最大値と の上から2番目の値を比較して大きい方を採用し、その数値を30の整数倍に切り上げ、1,000倍して算出します。

### ◆ サーキットブレーカー制度

先物価格が取引所規定の変動幅を超えて上昇(又は下落)し、かつ、先物の理論価格が現物相場と比較して規定の乖離幅を超えて上回っている(又は下回っている)場合に、15分間、取引が一時中断される制度です。

### ◆ 差換預託

「直接預託」は、お客様の差し入れた証拠金全てをそのまま取引所に預託します。

「差換預託」は、お客様の書面による同意がある場合、証拠金に相当する額以上の自己で保有する金銭または有価証券を取引所に預託します。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

# 先物取引の口座を開設するには？

先物取引口座を開設するには、「指数先物取引説明書」等の内容を十分ご理解いただいた上で、

1. 「日経225先物・日経225オプション取引口座開設申込書 兼 確認事項調査書」
2. 「先物・オプション取引口座設定約諾書」
3. 「指数先物・オプション取引契約締結前交付書面に関する確認書 / 差換預託に関する同意書」

をご提出ください。

口座開設時には、いただいた書類を元に審査を行います。弊社の判断により電話審査を実施する場合があります。

法人のお客様については、電話審査、またはリテラ店頭での面談が必要となります。

先物取引口座の開設にあたっては、一定の投資経験、知識、資力等が必要となります。場合によっては、口座の開設に応じられないこともあります。

オンライントレード口座を既にお持ちの方は、ログイン後の[お客様情報]画面より、必要書類をご請求ください。

オンライントレード口座未開設の方は、オンライントレード口座の開設用書類をご請求いただく際に、併せて先物・オプション口座の開設用書類をご請求ください。

投資に際しては、契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。